

保育園の評価

I・保育所共通評価項目

- ・ 回答が難しかったようで、空欄が目立った。
- ・ 全体的にもう少し努力して進めば結果が見られるのでは？と思われる項目が多く、これからもう一步改善できたらと思う。

1. 福祉サービスの基本方針と組織

- ①理念と基本方針は、子ども一人ひとりが人格を持った人間として接し、固定観念を持たず、個性を尊重し、保育を行っている。園のパンフレットにも理念、方針、目標等を掲載し、充分とは言えないが保護者にも提示している。
- ②事業の運営は、ホームページに事業報告、決算報告等を掲載し開示している。また園内でも閲覧できる。
- ③子ども主体の保育に移行していくが、中期、長期のビジョン、計画の取組が弱い。今後は職員にサービスに関する具体的なアンケートを行い、中期、長期のビジョンとして取り上げていきたい。

2. 組織の運営

- ①クラス担任と主任、担任同士の話し合いを重ね、保育士会、職員会を大切にし、意見が言えるように工夫したが、全ての職員が意見を述べるという雰囲気は薄い。施設長も職員個々にあった良い点を伸ばそうとする傾向は見られるが、リーダーシップに乏しい。
- ②コロナ禍で大変な業務ではあったが、職員が一致、協力する姿が見られた。
- ③理事、評議員、第三者委員との連携も困難ではあったが、理事会で諮った内容については施設長から報告等があった。

3. 適切な福祉サービスの実施

- ①子どもの人格を尊重した保育は、倫理綱領を要約した「職員の心構え10か条」を明記しているが、特に新任職員への浸透が薄い。今後研修の機会を設けたい。
- ②「心を育てる」をテーマに、毎月の話は継続していきたい。
- ③子どもたちのプライバシー、子どもたちの権利擁護に心掛けている。
- ④数か所の入り口に意見箱を設置し、保護者の意見、苦情、不備等を解決するための仕組みを整備している。
- ⑤コロナ禍の日々で、職員は毎朝、また夕方園内外の消毒を行う。3歳以上児はマスクを着用し、手洗い、うがい(他児にかからないように)、消毒等を徹底した。
- ⑥子どもたちの事故防止のため、毎月(日)の遊具等の点検を行い、不備がある時は迅速に修繕を心掛けている。また、看護師、調理師等が中心となって、アレルギー対策、感染症防止対策に講じている。

Ⅱ・保育内容

- ・ 保育内容に関しては、実体験や経験値の上で回答できることが割と容易であり、高い評価である。
- ・ まだまだ次の段階まで進めば、Aになるのでは？と思われる項目が多々ある。全体的にB評価だと感じた。

- ② 保育理念、方針、目標等を見直し、子ども主体の保育を目指している。
- ② 一人ひとりの子どもの声に耳を傾け、特に気になる子どものために、保護者との面談を行い、情報を共有しながら保育を行っている。保護者の認識のもと、関係機関を利用できたことは有難い。今後も各機関との連携を密にしていきたい。
- ③ 保育室は狭い部屋もあるが、清潔で衛生的な件も考慮し、環境を整えている。(冷暖房、消毒、加湿機、除湿機、ジアイーノ設置他)
- ③ 各保育士のキャリアアップ、自己の専門性を高めるために、出来る限り研修に参加した。また園内でも、キャリアアップのため、独自の研修会を行った。気なる子どもの保護者と面談をし、関係機関に指導を仰ぎながら、保護者と園と情報が共有できた。
- ④ 毎年、子どもたちの健康診断、歯科検診を行っている。
アレルギーの子どもの食事は特に配慮し、医師からの指示の下、また保護者からの情報を得ながら、全ての職員が周知するようにしている(担任が休暇の日、他職員がそのクラスの配置になった時、不安がある)。
運動場は狭いがその季節に合った運動、遊びを取り入れたり、散歩を行っている。また体育教室を通して、体力促進に励んでいる。
- ⑥ いじめや虐待の疑いがある場合、早期発見、関係機関との連携に努めているが、今年はコロナ禍で、訪問等が出来なかった。園内でも虐待がないように、職員同士の情報交換、マニュアルを作成し、予防に取り組んでいる。

令和5年2月10日～25日 実施

長崎聖マリア保育園